# NFC版救急タグの活用方法について (既往歴登録アプリと読取アプリの説明書) 本書はアプリのインストール後の説明書となります

2023年5月



### G7広島サミットにおけるNFC版救急タグの活用方針



# 既往歴読取アプリ使い方(簡易版)



アプリダウンロードのためのQRコードを記したPDFに記載しています。 大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター 4

# 既往歴読取アプリ使い方(詳細)



### 既往歴登録アプリの使い方(簡易版)



大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター

タッチしたまま2秒程度静止する。

# 既往歴登録アプリ使い方(詳細):初期画面



### 既往歴登録アプリ使い方(詳細):既往歴登録画面



### 既往歴登録アプリ使い方(詳細):既往歴登録画面



#### 既往歴の登録

- 病名をクリックすると背景が黄色になり、その病気の既往があることを示します。
- 再度クリックすると背景が白色に戻り、既往歴の登録取り消しができます。

#### 服薬中であることの登録

「服薬中」をクリックすると背景が赤になり、現在服薬中であることを示します。 再度クリックすると背景が白色に戻ります。

#### 隣の画面の示すこと

- 不整脈に対して服薬中
- 動脈瘤といわれたことがある

# android端末の言語設定(1/2)

端末の言語設定を変更するだけで既往歴登録アプリの言語が切り換わります。 (アプリだけで無く、使用環境も選択言語に変わりますのでご注意ください)



該当箇所をクリックしてください。

# android端末の言語設定(2/2)

使いたい言語が一覧表にない場合の「言語を追加」方法



### NFC版救急タグアプリの利用(お試し)について

(アプリインストール後のお試しについて) 本アプリの利用申請をしていただいた場合でも、NFCを 封入したピンバッジの御提供はしておりません。 アプリをお試しになる場合は別途NFCチップを購入願い ます。

本アプリで対象とするNFCチップはNTAG216です。 データはNTAG216上に記録されるため、NTAG216を NFCピンバッジの代用として使うことができます。

#### (NTAG216)

NXPセミコンダクターズ社(本社オランダ)製のNFCチップ。 NXPはフィリップスの半導体部門が2006年に分社化して できた会社。NTAG216はamazonなどから購入可能です。

#### (注意)

NTAGシリーズとして次の3種類存在します。 NTAG213、NTAG215、NTAG216 本アプリではNTAG216だけが使用可能です。他は安価 ですが使用できません。 (NTAG216製品例) amazonサイトより抜粋

 TimesKey 12枚 NTAG216 NFCカード NFC 216 Cards 空白PVCカード
888バイトメモリ NFCタグ, Androidとすべ ての電話で動作NFC Enabled



SwitchBot NFCタグ スイッチボット シール スマートホーム - NTAG216 888バイト 防水 iOS Android対応 3枚入り



Prament 4PCS防水NFCタグNDEF Ntag216 13.56mhz スマートカード COD



### 現在確認できているアプリの不具合

不具合が見つかったアプリ: 既往歴読取アプリ

事象:救急タグアプリ以外のアプリによってデータ登録されているNFCチップのデータを読取る際にア プリが終了する。

原因:救急タグアプリは救急タグアプリで登録したデータのみを読み出すような仕様となっています。

今後はアプリが終了するのではなく、「救急タグデータとは異なります。データを読み取れません。」等のメッセージを表示できるように修正を行って参ります。 申し訳ありませんが、G7広島サミット期間中にはに対応できる見込みはありません。

その他、お気づきの点がございましたらお知らせください。

### アプリの流出にご注意ください

NFCピンバッジは暗号化しているため通常のアプリでは内容を読み取れません。読み取れるアプリは消防本部等に配布される既往歴読取アプリのみです。

本アプリが外部に流出した場合、悪意がある者によって不正に利用される恐れがあります。 可能性は低いですが、NFCピンバッジ保持者がピンバッジを紛失し、悪意がある者が本アプ リを入手し、見つけたピンバッジの内容を読み取り、その内容を元にしてピンバッジ保持者 に脅しや詐欺を行う可能性があります。

アプリが流出することのないよう注意願います。

この危険性が残っているため、アプリは6月末までしか使えない設定にしています。 今後、アプリの不正利用を防止する仕組みについても研究開発していきます。

アプリの感想、ご意見、導入希望などございましたら下記までお知らせください。 大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター 酒井

t-sakai@hp-emerg.med.osaka-u.ac.jp